



令和6年1月
第**38**号

〒761-4122
小豆郡土庄町上庄463-2
TEL: 0879-62-4636
FAX: 0879-62-4650

URL: <http://www.himawari-olive.jp>

ひまわり福祉会だより

発行所 社会福祉法人 ひまわり福祉会

令和6年もみんな笑顔で頑張ります!!



みんなそろっての記念撮影 (ひまわりの家建物前にて)



すくすく教室の記念撮影
(プレールームにて)



初詣での記念撮影
(伊喜末八幡宮にて)



クリスマス会での記念撮影
(食堂のステージにて)

「一人一人の笑顔のために」というタイトルの言葉は、私の名刺の裏に印刷しているものです。これは、私が理事長に選任された時に一番に頭に浮かんだものであり、ひまわり福祉会の理事長としての信条にしていきたいと考えています。令和6年も小豆島に住んでいる障害のある人が、自然豊かな島で、日々笑顔で暮らせるように職員一同が心一つにして頑張りますので、今後とも皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

しかしながら、このような時には足元をしっかり見つめて、初心に立ち返ることも重要なことです。

「一人一人の笑顔のために」とい

令和6年には、医療・福祉関係の3年ごとの報酬改定がなされます。また、令和3年に改正された「障害者差別解消法」が施行され、合理的配慮の提供が義務化されたりして、大きな変革がなされます。

このような時には、時代の流れをきちんと見定めて、今後の展開を真剣に考える必要があります。そのためには、国が障害福祉に何をもとめているのかを理解するとともに、小豆島の特性を生かしながら利用者さんや保護者の方々のニーズに合わせた障害福祉サービスの展開を目指していきます。

社会福祉法人ひまわり福祉会
理事長 橋本 明彦

一人一人の笑顔のために

令和5年のトピックス

四年ぶりの地域交流納涼大会

七月十六日に、コロナ禍で開催を見合わせていた『地域交流納涼大会』を提灯飾りが映える青空のもとで四年ぶりに開催しました。

感染症対策として、今回はひまわりの家の二階まで開放し、広いスペースでの開催を試みました。

わかば食堂様のご協力で、売店には美味しそうなお寿司や唐揚げなどが並び、FUKUMIMI KITCHEN様のキッチンカーもお越しいただきました。利用者さんと職員が売店に立ち、お客様との交流として、チケットと商品を交換する販売体験をしました。小豆島中央高校の学生さん、小豆島竹細工同好会の方がボランティアとして、ゲームコーナーや竹細工体験コーナーを担当してくださいました。

演芸大会では、利用者さんがそれぞれ出し物を披露し、歌やダンスで盛り上がりました。家族の方にもステージをご覧いただき、久しぶりの保護者参加の行事で、利用者さんも少し緊張していたようですが、とても嬉しそうなお顔が見られました。地元の小豆島の方々の協力で行われた「じゃんけん大会」も、会場の皆さんを大いに楽しませていただきました。

今年恒例の「お楽しみ抽選会」を屋外の駐車スペースで開催しまし

た。久しぶりのイベントに快くご協賛いただいた企業の皆様からの協賛品を、景品として抽選配付しました。たくさんの方にご参加いただき、大変好評でした。

ご協力いただいた皆様方に深くお礼申し上げます。

次年度もさらに利用者さんと地域の方々がともに楽しめる地域交流納涼大会を企画しますので、その折にはぜひ多くの方々がお越しくださいますようお願いいたします。

(サービス管理責任者 谷久香里)



恒例のお楽しみ抽選会



生活介護利用者さんの出し物

大いに盛り上がったスポーツ大会

今年のスポーツ大会は、コロナ感染拡大等を考慮して、丸亀競技場で開催される県障害者スポーツ大会の参加を見送りました。その代わりに、新しく完成した「県立小豆島みんなの支援学校」のご協力いただき、プレイルームで行うことができました。そこでは、ボッチャやフライングディスク等の障害者スポーツ用具を無償で借りして、様々な競技を行うことができました。

利用者さんは、全く触ったことのない競技道具を見て、興味津々に「どうやってつかうん?」、「どんなことができるん?」と嬉しそうに会話を楽しんでいました。競技が始まると、団体競技、個人競技にかかわらず、みんなで話し合いを行っていました。何事にも自分一人で行って組むよりも他の利用者さんや職員と切磋琢磨し合うことによってお互いを高め合うことができました。

今回は、初めての取り組みで反省点は沢山ありましたが、利用者さんが楽しく取り組めたことは本当に嬉しく思っています。コロナ禍でできなかったことが今後は新たな取り組みとして実現できるように職員一同が尽力しますので、今後ともよろしくお願いたします。

(職業指導員 田中秀輝)



就労の団体競技 (ボッチャ)



生活介護の障害物競走



合同競技の玉入れ

障害福祉サービス事業所 ひまわりの家

生活介護事業

十二月二十三日のクリスマス会、生活介護の出し物はクイズでした。題して「生活介護の利用者さんのことを一番よく知っているのは誰だ？」です。

職員が日頃、利用者さんと接している中で、これぞというエピソードを探してクイズにしました。あれやこれやと話し合いながら利用者さん全員の問題をつくりました。質問プレートも利用者さんをイメージしてデコレーションしました。

当日、回答してもらおうのは就労の利用者さんです。○×形式でクイズを出し、○×の札をあげて答えてもらいました。得点をつけるボードも本格的なものでした。

例えば「○○さんは赤い車が好きである？」や「○○さんは毎日オレンジジュースを飲んでいる？」等、みんながよく知っている問題だけではなく、引っ掛け問題やほとんど知られていない問題も出題しました。

問題を出す方にはにやにやわくわく、回答する方は真剣そのもので、正解を聞くと、納得したり、くやしがりたりでした。就労の利用者さんは生活介護の利用者さんをよく見ており、引っ掛け問題に

もなかなか引っ掛かりません。上位入賞者には商品もあり、会場はおおいに盛り上がり、質問する方も答える方も楽しい時間を過ごすことができました。

生活介護の職員にとって、利用者さんとともに過ごし、思い出を重ねていくことは何よりの喜びです。今後も寄り添い、笑い、一緒に考え、たくさんの笑顔に出会い、素敵なクイズができる様、この一年を過ごしていきたいと思

(生活支援員 廣瀬孝行)



クイズの優勝者は誰だ？



これは○か、×か？

就労継続支援B型事業

ひまわりの家の就労継続支援B型事業所は、小豆島に住まれている障害のある人の働く場です。通所にて軽作業に取り組み、いただき、その工賃を利用者さんに還元する事業を展開しています。

作業としては、主な収益であるオリーブオイル販売に向けて、オリーブの栽培、実の収穫・オイルの製造・商品化という一連の作業に携わっていただいています。他にも、企業などの協力を得て、空き缶の回収・選別、社内の清掃、屋内作業室での内職等があります。一人一人の特性に合わせた作業を行ってもらっています。その中で、その人らしさ、特性や能力などを活かすことにより、自信や意欲の向上にも繋がります。更なる就労への継続を図るよう努めています。

コロナ感染症が5類に移行された後、いろいろな行事が再開され、利用者さんの喜ぶ声や笑顔が戻ってきました。オリーブ収穫祭や小豆更生保護女性会との交流会でも、青空のもと一緒に木を囲み賑わう時間を過ごし、ひたむきに実を獲る姿からは真摯に向き合う力強さが伝わってきました。空間を共にすることによって小豆島の風土の中で地域の方々に見守られながら、社会に貢献していることを実感してほしいと願っています。

職員として、仕事に伴う対価が利用者さんに流れる循環の維持と安心して通うことのできる安全な事業所づくりを目指して、温かい支援に努めていきます。

(生活支援員 玉楮晶)



空き缶の選別作業



オリーブの実の収穫



神社の清掃作業

障害児通所支援事業所 すくすく教室

すくすく教室は、乳幼児期から学童期までの障害や発達が気になりなお子さんを対象に、困りごとを少しずつ解決していくため、一人一人に寄り添いながらその特性に合わせた支援を行っています。

私は昨年度まで大人の利用者さん
を支援していました。今年度から子どもの療育に携わることになり、最初はとても不安でした。同僚職員・子どもたちが温かく受け入れてくれ、今はやりがいを感じながら仕事に取り組んでいます。

5歳児健診で発達が気になったお子さんを対象とした『すくすくキッズ』では、集団での遊びや制作活動を通して、コミュニケーションの取り方をサポートしています。また、苦手だったことができるようになることで、自己肯定感を高めて、就学がスムーズにできるようになっています。

『放課後デイサービス』では、学校の授業を終えたお子さんが通所してきて、まずは宿題やそれぞれの課題（紐結び、紐通し、パズル等）に取り組んでいます。次に、自由に遊ぶ時間を取っています。さらに、職員が考えた全員が参加できるアク

ティビティ（ボール遊びや簡単なゲーム）や音楽遊びをして、楽しく過ごせる時間を取っています。特に嬉しかったのは、私が考えた「ピンポンカップインゲーム」を自宅で作って、実際に家族で遊んでくれたことです。そして、次の日にそのお子さんが、「山下先生のゲーム家をやってみました！」ということを書いてくれました。私の作ったゲームが家族で楽しむ時間のツールになったことに感慨深くなりました。

月2回の土曜日は、平日にはできないような行事を実施しています。『わいもクラブ』では、制作や外遊びを中心とした活動を、『スポーツ教室』では、障害者スポーツ指導員の宮下先生の指導で、一人一人の運動機能向上のためのスポーツをしています。また、行事として、四年ぶりの地域交流納涼大会でダンスを披露したり、余島で日帰りキャンプをしたり、寒霞溪ハイキングやクリスマス会などの活動を実施しました。

昨年の4月に開校した「県立小豆島みんなの支援学校」の授業参観をしたり、逆に支援学校の先生にすくすく教室を見学していただいたりして交流を深めています。

これからも、すくすく教室に通っているお子さんやご家族の皆さんがより明るく過ごせるように職員一同頑張っていきます。

(指導員 山下大貴)



すくすくキッズ
ハロウィンで制作したよ！



すくすくキッズ
粘土で制作をしたよ！



放課後デイサービス
音楽に合わせてリズム体操をしたよ♪



地域交流納涼大会
ダンスホールを披露したよ♪



寒霞溪ハイキング
山頂で記念撮影をしたよ！



すくすくクリスマス会
ケーキのデコレーションをしたよ♪

共同生活援助事業所
グループホーム
ソレイユ

昨年春よりソレイユに勤務させていただきました。私はこれまでに障害のある人とかかわった経験は全くありませんでした。そのため、ソレイユでの経験はすべてが新しいことばかりでした。

周りの職員さんに色々教えていただきながら、一番に感じたことは、利用者、職員間でのコミュニケーションの大切さです。また、利用者さんには個性や特徴があり、それぞれの毎日のルーティンを理解することも大切だと感じています。さらに、発語のない人が何を訴えているのか等の個別のニーズを把握して、そのニーズに寄り添ったきめ細かな支援をすることが、心地良く、楽しく、笑顔で生活していただくことにつながるのではないかと痛感しています。その上で、職員間で話し合いによる情報共有をして、より良い支援ができるように努力したいと思います。

これからの寒い時季に体調管理や事故がないように日々願いつつ、利用者さんの笑顔にたくさん出会えるように努めていきます。
 (生活支援員 黒島多賀子)

短期入所サービス

当施設は、主に知的な障害のある人を対象とした短期入所サービス(定員一名)も行っています。介護者の病気等で介護できない場合や介護者の休息等を目的に、障害のある人に短期間ご利用いただくサービスです。ご利用中は生活支援員が、入浴、排泄、食事等のほか、日常生活上の必要な支援を行っています。

詳細につきましては、グループホームソレイユ【075-23320】までお気軽にご連絡・ご相談ください。



小豆島町ふれあいスポーツ大会
 毎年楽しみにしている行事の一つです



クリスマス会
 クリスマスメニューと手作りのお菓子で楽しみました



二生公民館講座での制作活動
 2月の展示会に出品予定です

土庄町人権フェスタへの初参加

令和五年十一月十八日(土)に、土庄町総合福祉会館(フレトピアホール)で開催された土庄町人権フェスタに参加協力しました。

ひまわり福祉会としては初めての参加ということで、事業紹介と利用者さんが制作したモザイクアートの「人権まもるくん」と「なつのヒマワリ」を展示したり、ロビーでいちごジャムやオリーブ製品などを展示販売したりしました。

「ひまわりの家」という名前を聞いたことがある人は多いと思いますが、きちんと知っている人は意外と少ないかもしれません。参加者の大部分を占める小学校6年生と中学生にとつて、ひまわりの家は給食にときどき出てくる「おいしいいちごジャム」を作っている事業所との認識かもしれません。
 今後もさまざまな行事や催し物の場でひまわり福祉会の活動をアピールしていきます。

(生活支援員 船津貴美)



モザイクアート等の展示品

相談支援事業所 きさらら

障害がある人の生活を支える福祉サービスは、種類がたくさんあってかなり複雑です。その複雑なサービスをうまく使うためのお手伝いを提供する「相談支援事業」について説明します。

生活で困りごとがある時や福祉サービスを利用する時に相談できる窓口は、町の福祉の窓口だけではありません。都道府県や市町村が指定した「相談支援事業所」でも相談することができます。

- ・福祉サービスを利用したいけれども、どこに行つてどのようによいかわからない。
- ・一人暮らしで何か困ったことがあった時、助けてもらうにはどうしたらいいのか分からない。
- ・生活に困っているけれども、自分ではどうしていいかわからない。

相談支援事業所は障害のある人の相談を専門に受け付けている事業所なので、このような疑問や悩みなどに対応しています。

具体的には障害のある人やその保護者などの相談に応じたり、必要な情報を提供したり、福祉サービスの利用をサポートしたり、権利擁護のための必要な援助を行っています。

●計画相談とは

障害のある人や家族からの生活に関する相談に応じるとともに、障害児(者)福祉サービスを申請する際に必要となる「サービス等利用計画(案)」を作成する相談です。また、市町村からの支給が決定した後は、障害福祉サービス事業所などと連絡調整やサービスの利用調整を行うとともに、支給決定を受けている障害児(者)の生活状況や福祉サービスの利用状況などの確認(モニタリング)を行い、必要に応じて関係機関を集めた担当者会議を開催するほか、支給決定の更新、見直しなどに関する調整も行っています。

●地域相談(地域移行支援)とは

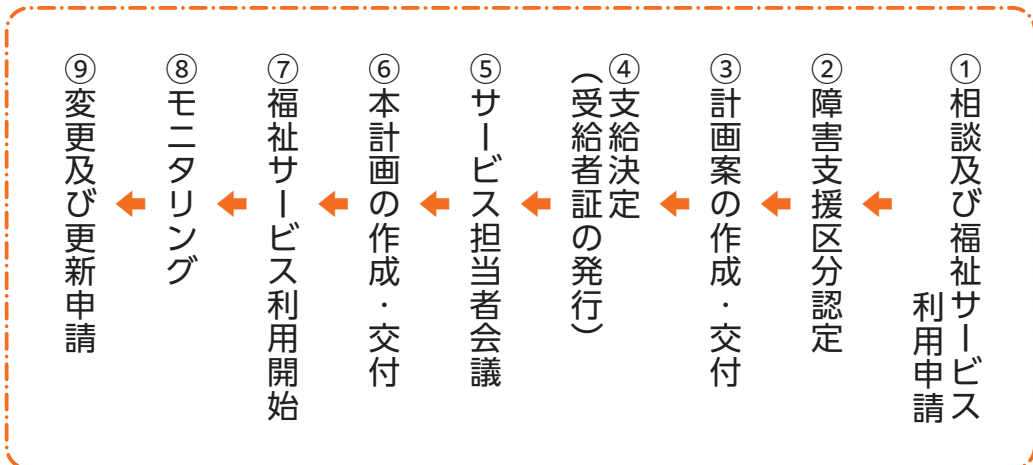
入所施設や精神科病院、矯正施設や更生保護施設などから地域生活へ移行するために必要な住居や日中活動の確保、各種の手続きや生活に必要な各種の調整などに関する相談に応じて必要な援助を行っています。

●地域相談支援(地域定着支援)とは

地域生活における各種のトラブルに不安を感じている一人暮らしの人や障害者の方の世帯の人を対象とした相談です。例えば、行政手続きや水回りの故障、近隣住民との関係といった困りごとの相談に応じて、常時の連絡体制を確保するとともに、

緊急事態が発生した場合には現地へ駆けつける支援を行っています。

●福祉サービスご利用までの流れ



(相談支援専門員 濱脇広子)

ひまわり福祉会役員・評議員

理事長 橋本明彦
理事 岡裕

若山朋子
岡野恵美子
石井昌彦
浜口勇
外山洋文
棟保博

監事 棟保博
(任期：令和五年六月二十五日、令和七年六月の定時評議会終結まで)

評議員 松尾峰生
三木義雄
大谷隆生
新茶善昭
余島邦昭
山口真理子
川田澄子
(任期：令和三年六月十九日、令和七年六月の定時評議会終結まで)

苦情解決委員会

苦情解決責任者 橋本明彦
第三者委員 川井和弘
棟保博
古谷三枝
苦情受付窓口 古谷三枝

職員紹介 [今、一番欲しい物]



生活介護事業

ひまわりの家

〈理事長〉
橋本 明彦
〈看護職員〉
孫とゆつくり遊べる時間

- 〈サービス管理者〉
谷久香里
どこでもドア
- 〈看護職員〉
川中いずみ
土庄方面に土地！
- 〈看護職員〉
坂口満可
時間
- 〈生活支援員〉
廣瀬孝行
アドベンチャー
- 〈生活支援員〉
砂子さおり
ハクション大魔王
- 〈生活支援員〉
小浦嘉也
Wealth and Honor
か
diner
- 〈生活支援員〉
池本住代
タケコブター
- 〈生活支援員〉
岡崎照代
若さ
- 〈生活支援員〉
三枝篤史
パソコン
- 〈生活支援員〉
柏原彩沙
財布
- 〈生活支援員〉
那須美貴
時間
- 〈生活支援員〉
寺岡真実
強靱な身体と精神
- 〈生活支援員〉
船津貴美
タイムマシン



本部

- 〈常任理事〉
岡 裕
利用者さんの笑顔
- 〈事務職員〉
高橋稔子
時間
- 〈事務職員〉
古谷三枝
時間
- 〈清掃職員〉
安西美紀子
エアロバイク



すくすく教室

- 〈管理者〉
中谷多恵子
孫(女の子)
- 〈保育士〉
渚 美奈
ドラえもん
- 〈児童指導員〉
佐伯美智子
平和
- 〈児童指導員〉
岡本伸一郎
お金
- 〈指導員〉
山下大貴
万馬券(帯)



就労継続支援B型事業

- 〈生活支援員〉
大川晴美
ダンス
- 〈生活支援員〉
井本博文
運
- 〈職業指導員〉
田中秀輝
マイホーム♡
- 〈職業指導員〉
森口忠幸
ステラのリール
- 〈目標員工質達成指導員〉
中村政彦
翼(つばさ)
- 〈目標員工質達成指導員〉
城土井進
ラジオ(小さいやつ)
- 〈生活支援員〉
港 博司
孫
- 〈職業指導員〉
伊丹正行
帽子
- 〈職業指導員〉
玉楮 晶
ゆとり



グループホーム ソレイユ

- 〈管理者〉
若山 朋子
適応力
- 〈生活支援員〉
壺井千代美
健康
- 〈生活支援員〉
畑井 博
健康
- 〈生活支援員〉
大川千賀子
DVDプレイヤー
- 〈生活支援員・世話人〉
余島千津枝
豊かな老後
- 〈生活支援員・世話人〉
吉元 豊美
お金
- 〈生活支援員・世話人〉
日下正美
健康
- 〈生活支援員〉
黒島多賀子
お金
- 〈生活支援員・世話人〉
下岡和美
なにもしない時間
- 〈生活支援員・世話人〉
徳本初恵
自分だけの時間



きらら

- 〈管理者〉
中森健一郎
お金
- 〈相談支援専門員〉
濱脇 広子
体力
- 〈相談支援専門員〉
谷口 富美
ジャックラッセルテリア

貸借対照表

令和5年3月31日現在

社会福祉法人 ひまわり福祉会

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	68,023,291	流動負債	12,080,032
現金預金	38,608,737	事業未払金	11,469,658
事業未収金	29,147,486	職員預り金	391,724
商品・製品	267,068	仮受金	218,650
立替金			
固定資産	122,750,992	固定負債	6,605,755
基本財産	33,581,253	退職給付引当金	6,605,755
建物	32,581,253	負債の部合計	18,685,787
定期預金	1,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	89,169,739	基本金	71,238,348
土地	95,000	基本金	71,238,348
建物	589,038	国庫補助金等特別積立金	21,830,800
構築物	1,840,332	国庫補助金等特別積立金	21,830,800
機械及び装置	819,994	その他の積立金	65,000,000
車両運搬具	10,569,908	その他の積立金	65,000,000
器具及び備品	3,481,912	次期繰越活動増減差額	14,019,348
ソフトウェア	136,800	次期繰越活動増減差額	14,019,348
電話加入権	31,000	(うち当期活動増減差額)	-5,003,712
その他の積立資産	65,000,000	純資産の部合計	172,088,496
その他の固定資産	6,605,755	負債及び純資産の部合計	190,774,283
資産の部合計	190,774,283		

※詳しい財務諸表は、ひまわり福祉会のホームページに掲載しています。

【ご寄付】ありがとうございました

(令和5年1月1日～令和5年12月31日) (敬称略・順不同)

中八香野濱 富岡安 高松山
 村木川川島 藤九こ富川平小富岡安 高松山
 良正 島口 本富 まモ 勝野 豆更 田野 西 松フエニツクス
 弘人 会子 陸 義千 食 史紀 忠美 正 子二 エ
 (※ご本人の意向により、掲載していない人もいます。)

小豆更生保護女性会との交流

毎年、小豆更生保護女性会の方が利用者さんとともにオリーブの収穫を行って来ています。



一緒に楽しく収穫していただき、とても感謝しております。



編集後記

前号の37号から掲載写真をカラーに変更し、より利用者さんのいきいきとした活動の様子が掲載できるようになりました。令和5年は新型コロナウイルスの5類移行による規制緩和に伴って、様々な行事を再開し、利用者さんの笑顔が増えた年でした。

編集委員会では、伝統と新しい視点を大切にしつつ、もっと利用者さんの笑顔を伝えられるよう「ひまわり福祉会だより」の編集に取り組んでまいりました。それぞれの事業所の活動や行事を通して、笑顔あふれる利用者さんの様子がなご一層伝わる紙面になったと確信しております。

(編集委員 橋本・廣瀬・玉楮・山下・濱脇)

ひまわりの家ホームページ QRコード

